



クリスマスもお正月もちょっとだけ

～冬休みのすごしかた～

今日で2学期は終わりました。クリスマスにお正月……、楽しい冬休みがやってきた！といきたいところですが、今年は「受験」が控えています。この楽しみはちょっとだけにして、早く受験モードに切り替えてください。

年が明けて1月11日(木)は第3回実力テストです。このテストは、公立一般選抜の受験校を決定する重要な資料となります。また結果によっては、公立特別選抜の受験校についても再考する必要がある出てくるかもしれません。その後1月24(水)～26日(金)の学年末テストと続きます。そしていよいよ本番、2月10日(火)は私学の入試が行われます。

今年の冬休みは、進路に向けた学習は弱点の補強を目標に、実力テストに備えるのがよいでしょう。各教科の自分の弱い単元に絞って問題を解き、必ず答え合わせをして、できなかった問題はできるようにするまで繰り返し解きます。

休みに入ると、ついつい夜遅くまで起きて朝起きるのも遅くなる、夜型の生活になりがちです。しかし入試は午前中に行われます。夜型では午前中に頭が回転せず、実力を発揮できません。冬休みは規則的な生活を心がけ、朝型を維持しましょう。

暖房の効かせすぎにも注意しましょう。「頭寒足熱」といって足もとを暖め上半身は涼しいぐらいが健康にも良く、頭がさえて勉強がはかどります。

いよいよラストスパートです。今一度計画を見直し、悔いの残らないよう頑張ってください。



進路相談で台否は決まらない

～私学進路相談～

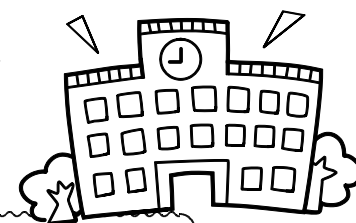
12月22日(金)に進路懇談が終了し、私学と公立特別選抜の受験校を絞り込みました。

1月9日(火)から私学の進路相談が始まります。これは本校教員が高校の先生と、皆さんの合格の可能性について相談することです。これで台否が決定するわけではありません。なお、公立の高校等ではこのような相談はありません。

多くの学校を見学し、自分の夢や学力などいっぱい悩み、家族や園の先生、担任の先生

ともよく相談して決めた進路です。変更することはないと思いますが、万一冬休み中に考え直す必要が出てきましたら、1月5日(金)までのできるだけ早くに、担任の先生に相談してください。1月6日(土)以降では進路相談に間に合いません。12月28(木)～1月4日(金)は中学校の先生は出勤しません。

また、進路懇談で決定した内容と異なる科やコースで出願するつもりの人(例えば「懇談で『進学コース』に決定したが転コース合格を考えて『特進コース』で出願する」等)も、5日(金)までに担任の先生に申し出てください。



自分の思いをアピール

～公立高校「自己申告書」～

公立高校と高等支援学校は、出願時に「自己申告書」を提出しなければなりません。これは「あなたは、中学校等の生活(あるいはこれまでの人生)でどんな経験をし、何を学びましたか。また、それを高等学校でどのように生かしたいと思いますか。できるだけ具体的に記述してください。」というテーマで、各校のアドミッションポリシー(求める生徒像)に自分が合っていることを具体的にアピールするものです。

この内容は、高等支援学校と特別選抜のエンパワメントスクール、桃谷高校の多部制、中央高校では面接の資料となり、合否判定の大きな部分を占めます。その他の高校では、ボーダーゾーン内での合否判定の資料となります。

冬休み中に一度書き上げ、3学期に先生の添削を受けながら推敲して、出願までに完成させましょう。

楷書で丁寧に

～私学願書の書き方～

いよいよ私学の願書を書きます。丁寧に書いてください。私学は公立とちがい学校によっていろいろな様式があります。書かなければならない書類も学校によって異なります。基本的な内容や書き方は公立も含めほぼ同じですので、私学を受験しない人もよく読んでおいてください。

- ① 黒のボールペンや極細のサインペンなど書いてください。消しゴムで消えるボールペンは使えません。いきなり書かずに鉛筆で薄く下書きをしてから、清書するといいでしよう。
- ② 文字は楷書で丁寧に書きます。数字は漢数字ではなく算用数字を使います。
- ③ まちがえたときは、修正液や修正テープで消してはいけません。まちがえた所に2本線をひき、その近くに正しいことを書いたあと、2本線のところに訂正印を押します。

- ④

日付は出願の日を書きますが、出願するときに記入しますので空けておきます。
- ⑤

科やコースはあてはまるものに○印を入れるか丸で囲みます。第2志望ができる場合は説明をよく読んでまちがえないように記入してください。
- ⑥

名前や住所は字体も含め住民登録通りに書くことが原則となっています。たとえば字体の「浜」⇨「濱」⇨「濱」等も注意してください。
- ⑦

ふりがなは「ふりがな」と書いてあればひらがなで、「フリガナ」と書いてあればカタカナで書きます。
- ⑧

「印」は、シャチハタなどのゴム印は認められません。認め印でかまいませんが、固い印鑑を朱で押してください。
- ⑨

保護者の「本人との関係」は、本人から見た関係で「父」「母」となります。「実父」「お母さん」「親子」などとは書きません。
- ⑩

現住所は原則として住民登録どおりに「丁目」「番」「号」を省略せずに書きます。住所が大阪市の場合は「大阪府」は省略してかまいません。集合住宅の「棟」や「ウェストリバー」等の住宅名も省略してかまいません。書き方の例や指示がある場合は、それに従ってください。（(例)大阪市東淀川区菅原1丁目2番3-401号）
- ⑪

卒業年月は「平成30年3月 卒業見込み」です。日も書く場合は31日となります。
- ⑫

写真は学校で貼ります。
- ⑬

入学検定料はほとんどの学校が銀行振り込みとなっています。私学の進路相談後、**受験校が確定してから**振り込んでください。高校等からいただいてきた振り込み用紙に必要事項を記入し、銀行等で振り込んでください。高校等指定の銀行等で振り込むと、手数料が安くなります。また手数料が少し高くなりますが、**A T Mを使わずに窓口で**振り込んでください。入試要項にA T Mでの振込方法が書いてある場合は、A T Mでもかまいません。**インターネットでの振り込みは絶対にしないでください。**高校等での確認ができません。
- 振り込みをすませた受領証等は、願書等に貼付けずに願書とともに担任の先生に提出してください。願書がそのまま振り込み用紙になっている場合は、清書した後、担任の先生に点検していただいてから、銀行等で振り込んでください。
- ⑭

合格通知用の封筒にも自宅の住所・名前を書きます。確実に届くよう、住宅名も書きます。「様」を抹消したり「宛」などに書き換える必要はありません。切手が必要な場合は指定の金額の切手を貼っておきます。
- ⑮

学校によりその他にも必要な書類があります。要項をよく読んでまちがえないように記入してください。
- ⑯

清書した願書やその他の出願書類は、1月15日(月)までに担任の先生に提出してください。受験料の振り込みが間に合わない場合は、振込受領証のみ後日でかまいません。
- ※

右に一般的な願書の記入例を載せています。参考にしてください。



※印欄は本校で記入

入学志願書

平成30年1月26日

本人氏名 吉永 小百合

保護者氏名 吉永 光夫 印

※印欄は本校で記入

受験票

専併願 ※ 受験番号

第1志望 第2志望

○特進コース ○標準コース

標準コース

出身中学校 大阪市立弘済中学校

ふりがな よしなが さゆり

氏名 吉永 小百合

生年月日 昭和54年12月29日生

〒533-0022

現住所 大阪市東淀川区菅原1丁目2番3-401号

写真欄

上半身、正面、無帽

最近3か月以内に撮影したもの

縦4.5～5cm

横3.5～5cm

〇〇〇〇高等学校

出身中学校

学校名 大阪市立弘済中学校

学校長名 今岡 由樹 印

中学校で←ゴム印を押します

写真欄

上半身、正面、無帽

最近3か月以内に撮影したもの

縦4.5～5cm

横3.5～5cm

本人

よしなが さゆり

性別 女

生 日 昭和54年12月29日

〒533-0022

大阪市東淀川区菅原1丁目2番3-401号

大阪 市立 弘済 中学校

平成30年3月

卒業見込み

保護者

よしなが みつお

吉永 光夫

父

本人との関係

本人の欄に同じ

電話番号 06 (1234) 5678

写真欄

上半身、正面、無帽

最近3か月以内に撮影したもの

縦4.5～5cm

横3.5～5cm

写真欄

上半身、正面、無帽

最近3か月以内に撮影したもの

縦4.5～5cm

横3.5～5cm

〇〇〇〇高等学校様

貴校第1学年に入学を志願しますので、ご検定のうえ許可くださいますようお願いいたします。